

1. 提出物について

2月1日(水)16時(所属研究室のプログラムが別に定める場合がある)までに以下のものを提出すること。提出物に記載する論文題目に相違がないよう十分注意すること。

- **卒業論文** (媒体:紙に印刷したもの1部,提出先:指導教員)様式は別紙参照。
- **卒業研究審査願** (媒体:Excelファイル,提出先:指導教員)テンプレートファイルあり。提出日,入学年,学籍番号,氏名,指導教員名,卒業研究題目を入力すること。類長印と指導教員印は不要。
- **卒業研究発表会用要旨** (媒体:PDFファイル,提出先;所属研究室のプログラムが指定)テンプレートファイルあり。(P1研究室所属の学生は様式A-1,P2~P5研究室所属の学生は様式A-2)
- **輪講学習リスト** (媒体:PDFファイル,提出先;所属研究室のプログラムが指定)※テンプレートファイルあり(様式B)。輪講や卒業研究の中で、読んで勉強した論文・書籍(過去の卒論や修論も可)の一覧をA4用紙1ページにまとめる。審査において、輪講Bの単位認定根拠となる。

☆ 指導教員は,研究室卒研生全員の「卒業研究審査願」と「卒業研究題目一覧」(Excelテンプレートファイルあり)をIII類事務に送付する。

2. 卒業論文のチェック

提出された卒業論文については,指導教員が押印した後に,プログラム内にてチェックを行う。チェック後,卒業論文はチェックシートとともに指導教員を経由して学生(執筆者)に返却される。

3. 卒業研究発表会

2月17日(水)までの期間に所属研究室のプログラム毎に1日で実施。
自分の発表会場の発表を全て聴講することが望ましい。

4. 評価

卒業論文や卒研発表会の内容が不十分の場合には,卒研再発表などを求められる場合がある。

5. 卒業研究B・輪講Bの担当教員 (メールアドレスの末尾に uec.ac.jp が付加される。)

機械システムプログラム	松村先生 matsu@mce.uec.ac.jp
電子工学プログラム	塚本先生 t.tsukamoto@uec.ac.jp ・ 奥野先生 okunotsuyoshi@uec.ac.jp
光工学プログラム	浅原先生 aki.asahara@uec.ac.jp ・ 白川(晃)先生 akira@ils.uec.ac.jp
物理工学プログラム	岸本先生 kishi@pc.uec.ac.jp
化学生命工学プログラム	石田先生 takayuki.ishida@uec.ac.jp

テンプレート等の場所 <http://www.c3.uec.ac.jp/stu/2020/index.html#4nen>



〔卒業論文〕

卒業論文は、卒業研究発表会で回覧し、内容と形式を下記に沿って審査する。提出日以降の変更、卒業研究発表会でのコメントを考慮した修正などを行い、指導教員が確認を行う。その後各研究室で保管し、後輩が随時参照する。

1. 用紙

縦 A4 版用紙で横書きとする。用紙の余白は左側を 3cm 以上、その他を 1cm 以上とり、右肩にページを記入する。

2. ファイル

ファイルの表紙および背表紙は図 1 のようにする。左綴じ。

3. 内容

論文執筆に際し、以下を参考にすること

- ▶ 論文構成：表紙、目次、序論、本文、結論
- ▶ 謝辞、参考文献、付録は、章としない
- ▶ 図・表にはそれぞれ章通し番号と見出しをつける

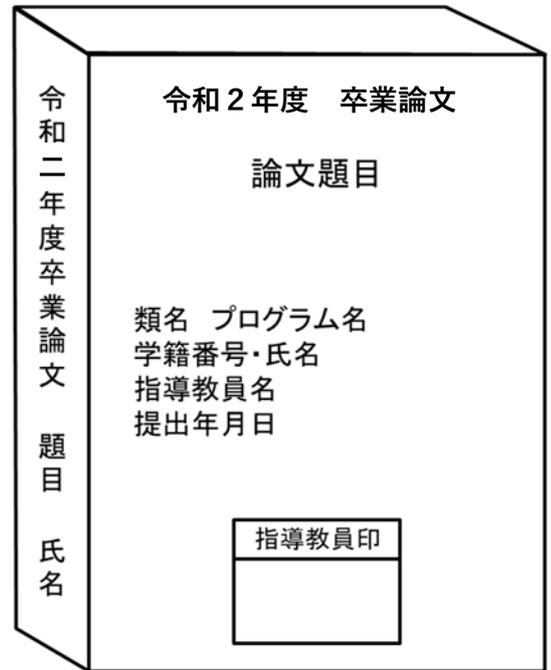


図1 ファイルの体裁

〔卒業研究発表会用要旨〕

要旨を各自作成し、各プログラムの定める指示に従って提出すること。

(別紙フォーマットあり。P1 研究室所属の学生は様式 A-1, P2~P5 研究室所属の学生は様式 A-2)

〔卒業研究発表会〕

卒業研究発表会では、次の事項を考慮して卒業研究の単位認定が審査される。尚、提出卒業論文の審査も併せて行う。

1. 要旨や卒業論文はわかりやすく記されているか
2. 発表の資料は見やすくできているか
3. 内容を理解しているか
4. 自分で行った部分はどこか
5. 発表時間の制限内にまとめたか
6. 発表態度
7. 質疑への応答